学校番号	1101

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校化学基礎　visual」　（実教出版）						
副教材等	「アクセスノート　化学基礎　改訂版」　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は自然界に存在するすべての物質とその変化を探求する、とても範囲が広く、奥の深い学問です。化学基礎ではその基礎の基礎に相当する内容を１年かけてゆっくり学習します。週２回のペースで教科書も少しずつ進みますが、放っておくとテスト前に復習しきれなくなるので、こまめに復習を積み重ねていってください。授業はプリントを中心にし、問題集からの問題を補充しながらおこないます。教科書と問題集を持参して授業に参加するようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
いろいろな物質や化学反応について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
化学に関する計算問題を解けるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活をとりまくいろいろな物質や化学反応への理解を深め、意欲的に探求しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな物質や化学反応について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。また、いろいろな物質や化学反応に実験や観察を通してふれ、基本操作を習得するとともに、データの記録・処理能力を高めて自然現象を科学的に探求する技能を身につけている。	いろいろな物質や化学反応の中に問題点を見いだし探求する過程を通して、科学的な思考能力を身に付け、到達した考えを的確に表現している。	いろいろな物質や化学反応について関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を習得している。また、その中で生じた疑問を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	物質の構成	物質の探究 物質の構成粒子	a:原子の構造と元素の周期表について理解し、知識を身につけている。炎色反応に関する実験・観察を通して基本操作を習得し、過程や結果を的確に記録・整理できる。 b:純物質や混合物の違いや、混合物の様々な分離方法を知り、自分の言葉で説明できる。 c:物質の成分と構成元素、原子の構造と元素の周期表について関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけている。	学習状況の観察 定期考査 授業プリント 実験・観察の記録 小テスト	学習状況の観察 定期考査 授業プリント 実験・観察の記録	学習状況の観察 授業プリント 実験・観察の記録
	物質と化学結合	イオン結合 共有結合 金属結合	a:イオン結合・共有結合・金属結合などについて理解し、それぞれがどの知識を身につけている。 b:化学結合について、どのような物質がどの結合によって形成されているのかを思考し、的確に表現できる。 c:イオン結合・共有結合・金属結合について関心をもち、意欲的に取り組む姿勢を持つ。	学習状況の観察 定期考査 授業プリント	学習状況の観察 定期考査 授業プリント	学習状況の観察 授業プリント
後期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応	a:物質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応について理解し、知識を身につけている。 b:物質量の計算や化学反応式などを理解し、分からない生徒に積極的に教えてあげられる。その際、どのように教えれば分かりやすいのかを思考し、的確に表現できる。 c:物質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応について関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけ、意欲的に練習問題に取り組むことができる。	学習状況の観察 定期考査 授業プリント	学習状況の観察 定期考査 授業プリント	学習状況の観察 授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度